

国際オートメカニク科			2027年度 授業計画		
時 期	2年前期	単元	実習	教科名	シャシ実習 5
科 目	自動車整備作業	教科書等 持参品	2級自動車整備士（総合）		発行日
総時限	28				2026年2月26日
総時間	44.8				坂口 正憲
単 位	1				石井 隆幸
1. 指導教員の実務経験 該当 非該当 自動車整備の実務経験がある教員によりシャシ 2 Aの内容について指導する。					
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入） 1. トルクコンバータの構造、作動、性能を理解させる 2. プラネタリギヤの構造、作動、計算を理解させる 3. ギヤユニットの構造、作動、点検を理解させる 4. 油圧制御の概要、変速制御の仕組みを理解させる 5. 無段階自動変速機（C V T）の仕組みを理解させる					
3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか） 1. トルクコンバータの構造、動力伝達を理解する。 2. トルクコンバータの性能曲線図を理解し、トルク比・速度比の計算ができること。 3. プラネタリギヤの作動を理解し、ギヤ比の計算ができること。 4. A T 内部の制御要素の配置、役割を理解する。 5. A T の変速時の動力伝達を理解する。 6. A T の部品の名称を理解していること。 7. C V T の作動を理解する。					
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目） ・学科履修試験とレポートルーブリック採点で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。 作業の注意点を○×問題、又、レポート評価により100点満点で評価する。 ・合格点：60点以上 80点以上：優 60点以上：良 60点未満：不可 ・不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。 再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。 ・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。					
5. 準備学習 ・2級自動車整備士（総合）の動力伝達装置について予習しておくこと。 ・マニュアルトランスミッションは2級では少ししか記載されていない為、復習をしておくこと。					
6. 学修時間と単位 本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。 1単位の修得に必要な学修時間の目安は、30～45時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）15～0時間である。					

国際オートメカニク科

2027年度 授業計画

時 期	2年前期	単元	実習	教科名	シャシ実習 5	
7. 授業概要（時限ごとの主な授業内容）					8. 教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量
1	AT車の特徴説明				RE4R01A型AT	10
2	AT車の概要説明				プラネタリ・ギヤ模型	
3	AT車の概要説明				A T 分解台	10
4	プラネタリ・ギヤ解説				エアホース	30
5	プラネタリ・ギヤ練習問題				エアホース2分岐	10
6	トルクコンバータ脱着練習				エアホース5分岐	2
7	AT分解				エア・レギュレーター	2
8	AT分解				スナッピングプライヤ	10
9	AT分解&スケッチ				オイルポンプスタンド	10
10	スケッチ				オイルポンプスライドハンマ	10
11	ギヤトレイン解説				エアガン	20
12	ワンウェイクラッチ解説、バンドブレーキ解説				ワセリン	
13	各制御要素解説					
14	動力伝達解説					
15	動力伝達解説					
16	動力伝達解説、各制御要素まとめ					
17	油圧制御式、電子制御式解説					
18	油圧制御式、電子制御式解説					
19	油圧コントロール解説					
20	油圧コントロール解説、制御油圧解説					
21	日産3級練習問題					
22	日産3級練習問題解説					
23	AT組付け					
24	AT組付け					
25	AT組付け					
26	C V T 分解					
27	C V T 分解					
28	C V T 組み付け					
※	実習試験					

※ 期末試験は授業時間に含まない